



いきいき健康術 第132回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『狭心症・心筋梗塞とは』

ほり ゆうすけ
堀 友亮 循環器内科医師

月曜日の内科を担当
国保京丹波町病院和知診療所

日本人の **死亡原因の第2位は心臓病** であり、その半数が心臓の血管である **冠動脈の狭** **窄** または **閉塞** によって引き起こされる **狭心症・心筋梗塞** と言われています。急性心筋梗塞では約30%の人が発症後短時間で死亡しており、命にかかわる病気の1つと言えます。急性心筋梗塞の前段階である **狭心症の段階で治療すれば、防ぐ事が可能** となります。

心臓は、血液を全身に送るポンプの働きをしています。そのためには、心臓の筋肉自身も酸素や栄養を必要としています。その酸素や栄養を供給するものが、心臓を取り囲むように広がっている冠動脈と呼ばれる血管です。この血管で、血管壁が硬くなる動脈硬化が進行し、**血管の内腔が狭くなるのが狭心症、完全に詰まるのが心筋梗塞** です。動脈硬化とは、血液中のLDLコレステロールなどが、血管壁に溜まり、プラークというこぶをつくることです。

症状としては…

- 胸が締め付けられる痛み
- 冷や汗が突然出る
- 数分～15分くらい発作が続く
- 安静または薬の使用にて発作が改善する



発作が運動時だけではなく、**安静時にも認めるようになった。発作の頻度が多くなった、発作を抑える薬の効きが悪くなった、などの変化があれば狭心症が悪化している可能性** があります。心筋梗塞に移行する危険性があるため、**医療機関を受診** して下さい。



町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。

ご理解とご協力をお願いします

和知診療所 電話 0771-84-1112